



うきうきだより

令和5年度
3月号
社会福祉法人中央福祉会
げんきな森中央保育園
ばら組

ぽかぽか暖かい日が続き、戸外では、泥水あそびや鬼ごっこ・縄跳びなど、元気のよい声が響いています。この一年を振り返り、一人ひとり自分のペースで大きく、たくましく成長した姿に嬉しさを感じています。

毎日の遊びのなかで、相手の気持ちに寄り添う姿や、友だちと力を合わせる場面もたくさん見られた子どもたち。年長児は、話し合い、譲り合い、協力し合うことの喜びや大切さも感じています。これからも様々な経験を通して、さらに大きく成長することを楽しみにしています。この一年、笑って、泣いて、時には怒ったりしながら、みんなで楽しく過ごすことができました。保護者の皆様には、いろいろとご理解とご協力をいただきありがとうございました。

3月のわらい

- ・春の訪れによる自然の変化に気づき、身近な草花、植物に関心を持つ。
- ・進級への期待を持ち、友だちとやりたい遊びを楽しむ。(もも)
- ・様々な活動に意欲的に取り組み、年長児に進級することに喜びと期待を持つ。(さくら)
- ・一人ひとりが成長を認められ、入学する喜びや期待感を持ち、お世話になった人や物に感謝する気持ちを持つ。(ふじ)

今月のうた

- ♪ うれしい ひなまつり
- ♪ はるがきた
- ♪ 思い出のアルバム
- ♪ さよならぼくたちのほいくえん

今月のえほん

- ・ポンチャックさん
- ・もじもじこぶくんピンクのぼうし
- ・はんぶんライオン

まめまき



おでかけクラシック♪



4月、ドキドキしながら、ばら組の部屋での生活をスタートさせたももチーム。ふじ・さくらチームの姿を見ながら、「こうやってするんだ」「私たちもやってみよう」と様々なことを経験してきました。

さくらチームは、様々なことに、意欲的に取り組んだり、挑戦しようとする姿が、だんだんと増えていき、たくましくなってきました。

ふじチームは、年長児として、常にクラスを引っ張っていました。いつも、もも・さくらチームの事を気にかけてくれる、優しい年長さんでした。

毎日の生活や遊び、様々な行事を通して、保育者や友だちの話を聞くことの大切さを知り、相手の話を理解する事や気持ちに寄り添うこと、そして、自分の思いを言葉で伝えることで気持ちをわかってもらえることを学びました。まだまだ、上手く伝わらず、泣いてしまうことも多いですが、たくさん経験をして、成長する姿を楽しみに見守っています。

これからも、色々なことに積極的に取り組み、挑戦し続けて欲しいと思います。

おしらせ

<もも・さくらチームのみなさんへ>

3/14(木) クッキング(クッキーづくり)を予定しています。前日までにエプロン、三角巾、マスクを持って来て下さい。